

特選講師情報

リストNo 14664

2025/01

講師派遣の **ブレンバンク** 株式会社

〒530-0055

大阪市北区野崎町6-7大阪北野ビル

TEL:06-6315-7591 FAX:06-6315-0506

担当者：大瀬 恵美

●講演会をする場合は

- ①講演時間は、標準90分です。
- ②講演企画料は、源泉税込み(単位万円)です。
- ③講演企画料には、消費税が別途必要です。
- ④実施の場合は、旅費(交通費・宿泊費)が必要です。
- ⑤※印は、旅費2名分が必要です。

■講師陣 (敬称略)



講演料： **B**
BEST9

情報通と呼ばれる人が、ネタを仕込みにくる講演会を目指しています

●世界の視点で考える日本経済の行方

吉崎 達彦

双日総合研究所 チーフエコノミスト

1960年富山県生まれ。一橋大学社会学部卒業後、日商岩井(株)に入社。広報誌『トレトピア』編集長を経て、米国ブルッキングス研究所客員研究員、経済同友会調査役などを経て、日商岩井とニチメンの合併により'04年より現職。自身のホームページ「溜池通信」にて、米国の政治経済について鋭く分析したレポートを配信。産経新聞「正論」、毎日新聞「ナビゲート」、中央公論「時評2015」などで連載コラムを持つほか、TV東京朝日「モーニングサテライト」コメンテーターなど、テレビ・ラジオでも出演多数。著書に『オバマは世界を救えるか』『世界経済連鎖する危機』などがある。

(他のテーマ) ・ 日本・世界経済大予測
・ 米新政権の行方を読む



講演料： **B**
BEST9

専門はロシアの軍事・安全保障政策、宇宙政策、危機管理政策など。

●日本の安全保障：大文字と小文字で語る

小泉 悠

東京大学先端科学技術研究センター 准教授

1982年千葉県生まれ。'05年早稲田大学社会科学部卒業。'07年同大学大学院政治学研究科修了(政治学修士)。民間企業勤務。'09年外務省国際情報統括官組織専門分析員。'10年ロシア科学アカデミー世界経済国際関係研究所客員研究員。'11年(公財)未来工学研究所研究員就任。主な著書に『ロシア軍は生まれ変わるか』(東洋書店'11年)、『[図解]武器・兵器の秘密』(PHP 研究所'14年)、『軍事大国ロシア』(作品社'16年)、『プーチンの国家戦略 岐路に立つ「強国」ロシア』(東京堂出版'16年)。TV、ラジオなどのメディア出演多数。

(他のテーマ) ・ 中距離ミサイルをめぐる東アジア情勢
・ ロシア・ウクライナ戦争と日本の安全保障



講演料： **D-E**
BEST9

元・総務大臣秘書官 テレビの露出度とともに依頼数も急増中！

●日本経済再生なるか～地方の若き原動力が日本の経済を救う

岸 博幸

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授

1962年生まれ。東京都出身。一橋大学経済学部卒業、コロンビア大学ビジネススクール卒業。1986年通商産業省(現経済産業省)に入省し、産業政策、IT政策、通商政策、エネルギー政策などを担当。経済財政政策担当大臣、総務大臣などの政務秘書官を歴任し、不良債権処理、郵政民営化などの構造改革を主導。エイベックス取締役、ポリシーウォッチ・ジャパン取締役などを兼任。2021年7月内閣官房参与に任命される。著書に『ネット帝国主義と日本の敗北』『アップル、アマゾンが日本を蝕む』など。近著に『オリンピック恐慌』(幻冬舎・2018年1月)がある。

(他のテーマ) ・ 地域活性化の鍵～自身で考え創造・行動
・ 日本を変える～時代が求める新しい成長産業のカタチ



講演料： **B**
BEST9

地方発の隠れた実力商品、ヒット商品、或いは残念な結果に終わった商品から教訓を読み取

●トレンドが教えるビジネスのヒント

北村 森

商品ジャーナリスト(元・日経トレンドイ編集長)

1966年富山県出身。慶応大学法学部卒業。92年日経ホーム出版社入社、「日経トレンドイ」等で記事執筆。00年「日経おとなのOFF」企画立案、創刊に携わる。05年日経トレンドイ編集長。08年同社退職。09年幻冬舎入社し、「ケーテ」副編集長、「ウェブケーテ」編集長。10年同社退職。商品ジャーナリストとして活動。国内外のホテル、旅館、飲食店の覆盖面チェックを長年担当するなど、各種製品・サービスを一貫して手掛ける。ABC/TV朝日系列「ヒットの泉」コメンテーターをはじめ、TV・ラジオ出演多数。共著に『ヒット商品航海記』日本経済新聞出版社。

(他のテーマ) ・ トレンドが教える ビジネスのヒント～売上を伸ばす！
・ 地方企業のブランド地方発ヒット商品に学ぶ売れる商品、サービス、売り方とは

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： B
BEST9

全ての現場を「ディズニーランド」やUSJのようなワクワクする価値を創り出す組織、人材、場へ！

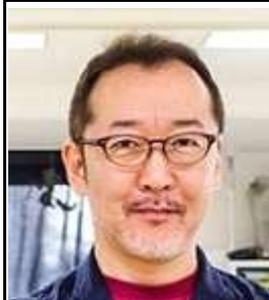
● テーマパークで学び身につけた成果を出し続ける自律型人材育成

今井 千尋

2大テーマパーク 人材育成・人材開発トレーナー

㈱オリエンタルランドへ入社。東京ディズニーシー開業時には自社内導入研修講師として数千名の研修を実施。その後、合同会社ユー・エス・ジェイへ転職。森岡毅氏がマーケティング本部長時代、直下プロジェクトであるゲストサービス向上施策にも立ち上げメンバーとして参画。各部門及び全社的なCS向上、CS人材を育成。企業内大学の創設に一貫して携わる等、USJのV字回復期に人材育成・人材開発の側面から支えてきた。2019年より人材育成・人材開発コンサルティング会社を設立。独自性のあるコンテンツは好評。SHIBUYA QWS コモンズにも就任し、スタートアップ企業～大手企業まで人材育成、人材開発分野の有識者として貢献している。

(他のテーマ) ・ 2大テーマパーク流 お客様から愛され続けるホスピタリティサービス
・ 一人ひとりの特徴を活かす組織づくり



講演料： B
BEST9

科学のホントの基本を知るだけで、あなたの頭は柔らかくなる！？

● フェイクニュース時代の科学リテラシー

竹内 薫

サイエンス作家

1960年東京生まれ。東京大学教養学科・物理学科卒業。マギル大学院博士課程修了。理学博士。大学院修了後、サイエンスライターとして活動。物理学解説書や科学評論を中心に100冊あまりの著作物発刊。06年「99.9%は仮説～思い込みで判断しないための考え方」が40万部超のベストセラーに。物理・数学・脳・宇宙など幅広い科学ジャンルで発信を続け、執筆、TV、ラジオ、講演など精力的に活動。日頃縛られることの多い思い込み、常識、前例、先入観、固定観念などの慣例や見方を少し変えるだけでビジネスや人生に役立つヒント満載。

(他のテーマ) ・ 生成AIが変えるこれからのビジネスの常識と課題
・ 人工知能の進化 ～共存し、生き残る道とは



講演料： C
BEST9

藤井聡太氏の師匠

● 将棋界における部下を伸ばす育成術

杉本 昌隆

将棋棋士

1968年 愛知県名古屋生まれ。80年11才で故・板谷進 九段 門下入り。90年四段に昇段し、プロデビューを果たす。06年に七段昇段。08年にはNHK将棋講座の講師を務める。19年には八段に昇段。2019年3月、第77期C級1組順位戦で9勝1敗の好成績でB級2組へ復帰昇段。50代の棋士の昇段は将棋界では13年ぶり。Bクラスへの復帰者は棋界で30年ぶり。「中年の星」と称される。トーナメントプロであると同時に執筆活動、テレビ出演、講演等もこなす。門下に藤井聡太竜王・名人、室田伊緒女流二段らがいる。将棋の戦術書の著作は20冊以上。

(他のテーマ) ・ ～将棋界における上司部下の関係～
・ ～将棋界における若い世代との接し方～



講演料： B
BEST9

オール一本勝ちで五輪2連覇達成！ <60分講演+質疑応答>

● 夢を叶える思考力

～ポテンシャルの引き出し方

谷本 歩実

女子柔道 アテネ・北京オリンピック金メダリスト

1981年生まれ、愛知県出身。筑波大学卒業後、コマツ入社。女子柔道63キログラム級、アテネ・北京オリンピックで金メダルを獲得。大会史上初となるオール一本勝ちでの連覇となった。2010年引退後はコマツ柔道部のコーチを務める傍ら、栄養士の免許を取得。2013年3月から2年間JOC海外指導者研修でフランスへ留学し、現在、全日本柔道女子チームの特別コーチや、2020年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会理事を務める。一児のママとしても活躍中。

(他のテーマ) ・ 金メダリストの思考回路
・ 私の柔道人生



講演料： C
BEST9

● 危機を乗り越えた経営者たち

江上 剛

作家

1954年兵庫県生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。旧第一勧業銀行(現みずほ) 入行。梅田・芝支店の後、本部企画、人事関係(総括部、業務企画部、人事部、広報部、行内業務監査室)、高田馬場、築地各支店長を経て'03年退行。在職中の1997年に、第一勧銀総会屋事件に遭遇。広報部次長として混乱收拾に尽力。その後コンプライアンス体制に大きな役割を果たす。この事件を元にした映画「金融腐食列島」のモデルとなる。銀行員の傍ら、'02年「非情銀行」で小説家デビュー。翌年退社後、本格的に作家活動に入る。

(他のテーマ) ・ 今後の日本経済と企業経営
・ 今後の日本経済と企業再生のヒント

■ 講師陣 (敬称略)



講演料: C-D

「日本一バズるアナリスト」

● 日本経済のゆくえ～世界の金融経済から紐解く

馬淵 磨理子

経済アナリスト/日本金融経済研究所代表理事

京都大学公共政策大学院 修士課程修了。トレーダーとして法人資産運用を担う。その後、金融メディアアナリスト、FUNDINNOで日本初ECFアナリストとして政策提言に関わる。フジTV(LiveNEWSαレギュラー)、TV東京、日本TV、BS朝日、読売テレビ、日経CNBC、プレジデント、ダイヤモンド、Forbes JAPAN、SPA!などで活動。ラジオレギュラー番組3本。Yahoo!ニュース公式コメンテーター、ラジオ日経レギュラー番組等。プレジデントオンライン執筆記事は2020年の半年間で累計6000万PVを超える。著書に『5万円からでも始められる! 黒字転換2倍株で勝つ投資術』『京大院卒経済アナリストが開発! 収入10倍アップ高速勉強法』『株+投資ギガトレンド10』。大学時代は、国際政治学を専攻し、ミス同志社を受賞。

- (他のテーマ)
- ・ おさえておくべき最低限必要な経済の仕組み
 - ・ 働き方の「アップデート」多様な働き方の実践方法



講演料: B

● 日本のエネルギー政策の方向性を考える

橋川 武郎

国際大学学長/東京大学名誉教授/一橋大学名誉教授

1975年 東京大学経済学部経済学科卒業。'77年 東京大学経済学部経営学科卒業。'83年 東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。青山学院大学経営学部専任講師。'87年 青山学院大学経営学部助教授。1987年～'88年 ハーヴァード大学ビジネススクール客員研究員。'93年 東京大学社会科学研究所助教授。'96年 東京大学社会科学研究所教授。博士(経済学)(東京大学)。'07年 一橋大学大学院商学研究科教授。2013年～(16年 経営史学会会長。'15年 東京理科大学大学院イノベーション研究科教授。2020年 国際大学大学院国際経営学研究科教授('23年学長)。主な著作に、『エネルギー・トランジション』('24年白桃書房)、『History of Innovative Entrepreneurs in Japan』('23年Springer)。

- (他のテーマ)
- ・ エネルギー安保とカーボンニュートラルへの道路
 - ・ カーボンニュートラルへー現状と課題



講演料: B

元外務事務次官が当時の経験からの教訓も交えながら日米や世界の情勢を読み解く

● 緊迫の国際情勢と日本の針路

藪中 三十二

大阪大学特任教授/元外務事務次官

1948年大阪府生まれ。1969年外務省入省、韓国、インドネシア、米国にて在外公館勤務。87年北米局北米第二課長(日米経済摩擦担当)、90年国際戦略2275研究所(ロンドン)主任研究員。91年在ジュネーブ国際機関日本政府代表部公使。95年大阪大学特任教授。98年在シカゴ日本国総領事館総領事。2002年アジア大洋州局長(六者協議首席代表)。05年外務審議官(経済担当・G8サミット・シエルパ)。07年外務審議官(政務担当)。08年外務事務次官に就任。10年外務省退官。主な著書に『トランプ時代の日米新ルール』『世界に負けない日本』などがある。

- (他のテーマ)
- ・ 国際社会の中の日本、その課題と展望
 - ・ 世界に負けない日本～国家と日本人が今なすべきこと



講演料: B

事実認識の共有化を目指して講演を中心に活動中(会場での移動導線は禁煙必須)

● ニッポンの地域力～負けない地域の作り方

藻谷 浩介

(株)日本総合研究所 調査部 主席研究員

1988年東京大学法学部卒業。日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。コロンビア大学経営大学院派遣留学(MBA取得)。94年より(財)日本経済研究所調査局(派遣出向)。99年日本政策投資銀行地域企画部調査役、2007年より地域振興部参事役。09年より1年間DBCシンガポール(株)兼シンガポール政府国際企業庁パートナー。10年より地域支援班参事役。'12年より特任顧問、および現職。内閣府地域再生本部「地域活性化伝道師」、中小企業庁「地域中小企業サポーター」など政府関係委員多数。著書に『テフレの正体』『ニッポンの地域力』ほか多数。

- (他のテーマ)
- ・ 地域経済再生へのカギ
 - ・ 日本の未来、考えよう



講演料: B

● テレビで話せない政治の舞台裏

青山 和弘

政治ジャーナリスト

東京大学文学部社会心理学科卒業。1992年日本テレビ入社。社会部警視庁担当から1994年に政治部に異動。以来、羽田政権から岸田政権まで15の政権を取材。野党キャップ、自民党キャップを歴任した後、国会官邸キャップは2回、通算6年にわたり、政権交代、東日本大震災、伊勢志摩サミット、森友・加計問題など取材・リポート。直接担当した政治家は枝野幸男、前原誠司、鳩山由紀夫、野田佳彦、山崎拓、武部勤、野中広務、亀井静香、安倍晋三、小淵優子、小野寺五典、林芳正、武田良太、小川淳也など。与野党を問わない幅広い人脈と分かりやすい解説には定評がある。

- (他のテーマ)
- ・ どこへ行く日本の政治
 - ・ 台湾有事は起きるのか その時日本は!?

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： B

ビジネス環境の変化をどう捉え経営に活かすか 日本テレビ系「シューイチ」コメンテーター

● 成功事例に学ぶイノベーションを起こす企業の条件

渋谷 和宏

経済ジャーナリスト・作家

1959年横浜生まれ。84年日経BP社入社。日経ビジネス編集部、日経エンタテインメント編集部、出版局編集を経て、日経ビジネス編集部の副編集長としてのデスク業務と並行して、別冊ムック企画を担当。2001年から日経ビジネスアソシエ開発を兼務し、02年4月に創刊、編集長に就任。日経ベンチャー、日経エコロジー等、ビジネス局長時に日経ビジネス、日経ビジネスアソシエ等の発行人、統合コンテンツ局長時に日経BPネットの発行人等を務める。14年に独立。執筆、講演や日本テレビ系「シューイチ」コメンテーター、TBSラジオ「渋谷和宏・ヒト」パーソナリティー、BS-TBS「まるわかり！日曜 ニュース深堀」メインキャスターとして活躍中。

- (他のテーマ)
- ・ これから注目されるビジネスとは
 - ・ 中堅・中小企業が取り組むべきSDGsとは



講演料： B

● 自律型人材を生み出す方法～個人の成長を促す社内環境づくり

永島 寛之

元)トリHD理事・組織開発室室長/好奇心研究者

1998年早稲田大学商学部卒業、東レ(株)入社。'07年ソニー(株)入社。欧州向けマーケティング担当。'11年米国ソニーラテンアメリカマーケティングディレクター。'13年(株)トリ入社。店舗管理、人材採用・教育に従事(新卒採用で成果を上げる)。'22年(株)レノバ執行役地政学員CHRO就任。'23年トイトイ合同会社設立。現在、複数の企業経営者の元で、「個人の成長」を起点とした未来組織開発を支援。

- (他のテーマ)
- ・ 超・人手不足時代に適応する～人材とテクノロジーの共存
 - ・ これからの人材採用～優秀な人材が自然と集まるインターンシップの考え方と設計方法



講演料： C

● 蔦屋重三郎に学ぶ江戸の知恵

車 浮代

時代小説家・江戸料理・文化研究者

セイコーエプソン(株)のグラフィックデザイナーを経て、故・新藤兼人監督に師事し、シナリオを学ぶ。現在は、江戸時代の料理の研究、再現(1000種類以上)、監修と、江戸文化に関する講演のほか、TV出演や、ラジオのレギュラーも。著書に『江戸の食卓に学ぶ』『江戸おかず12カ月のレシピ』『免疫力を高める最強の浅漬け』(藤田純一郎教授と共著)『1日1杯の味噌汁が体を守る』『天涯の海 酢屋三代の物語』など17冊。小説『蔦屋の教え』と『春画入門』はベストセラーに。

- (他のテーマ)
- ・ お江戸由来の発酵食のススメ
 - ・ 江戸庶民の食の知恵



講演料： C

マラソン通算成績15戦10勝 日本マラソン界の一時代を築いたランナー

● 心で走る

～マラソンリーダーからの提言

瀬古 利彦

DeNAアスレティックスエリート アドバイザー

1956三重県生まれ。早稲田大学卒業。高校時代、インターハイ優勝。早大時代、1万m、2万m日本記録。'80エスビー食品入社。翌年ホストマラソン優勝。1年間のブランク後、早慶陸上オープン5km優勝。'83年東京マラソンで日本最高タイムをマークし世界歴代4位優勝。福岡国際マラソンV4達成。'84年ロス五輪14位。1年半のブランク後、ロンドンマラソン優勝で日本人初の賞金5万ドル獲得。'87年ホストマラソンV2。翌年ソウル五輪9位。国際千葉駅伝で引退。'88エスビー食品陸上部監督。'90年エスビー食品子会社・韋駄天クラブ社長就任。'06同社スポーツ推進局長就任。この間、'05年日本陸連理事。

- (他のテーマ)
- ・ マラソンの真髓から学ぶ



講演料： A

笑い声の絶えない楽しい講演で即実践可能なコミュニケーション技術を手に入れてもらいます～87

● 0秒で心をつかむ魔法のコミュニケーション術

+マジックショウ

ナカノ・マクレーン

マジシャン

2010年ワタグループ創業者 渡邊美樹氏主催「みんなの夢アワード」にてファイナリストに選出。上京後、わずか10日でアパホテル&リゾート(東京ベイ幕張)に始まり、本気の朝礼で有名な(術)てっぺん、六本木会員制バーなど日本を代表する大手企業、有名企業と契約を結ぶ。プロマジシャンとしてデビュー後、わずか3年で10万人を超える人々に感動と笑顔のサプライズを提供し続けている。現在、プロマジシャンとしての活動の傍ら、マジシャンプロダクションの経営や企業研修、講演や執筆活動などその活動は多岐に渡る。また提携・取引企業は1,000社にも及び、歴代総理や各国大使にもマジックを披露。夢は子供たちが夢を語り、叶えられる世界をつくること。また介護施設や、カンボジア、モンゴルへの支援活動にも力をいれている。

- (他のテーマ)
- ・ 「思い通りに相手を操るマジシャンの心理テクニック」+マジックショウ
 - ・ マジックが教えてくれた自分を変える魔法 ～夢・人・絆が生まれるマジック